



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社

NEWS RELEASE

2025 年 8 月 28 日

**自治医科大学栃木県災害医学寄附講座と協業
「自治医科大学 災害医学の特命教授と学ぶ 食とお菓子の防災教室」を開始
～身近な食とお菓子を通した、防災意識向上を目指して～**

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は学校法人自治医科大学（栃木県下野市、理事長：大石利雄）の栃木県災害医学寄附講座と協業し、「もしもの時に役立つ 自治医科大学 災害医学の特命教授と学ぶ 食とお菓子の防災教室」（以下、本企画）を 8 月 28 日（木）より開始します。



当社は、2030 年に向けたビジョンとして、心・体・環境の健康を、顧客・従業員・社会へ提供し続ける「ウェルネスカンパニーへ生まれ変わる」ことを掲げています。近年の自然災害の増加や多様化により、防災意識の向上が地域や各家庭など社会全体で求められています。自治医科大学の栃木県災害医学寄附講座の医師と連携し、もしもの時に役立つ「意外と知られていない防災情報や知識」を社会へ広く発信することで、お客様一人ひとりの防災意識向上に貢献してまいります。

自治医科大学栃木県災害医学寄附講座は、災害医療に関する人材育成、調査研究、地域医療機関の BCP 策定支援、災害時の物資研究開発など、多岐にわたる活動を通じて、安心・安全な生活を確保する事を目的に設立されました。同講座との連携により、医師ならではの視点を交えた、防災啓発コンテンツを定期的に発信予定です。

当社はこれからも、食やお菓子の持つちからを通じて、身近で実践的な防災のかたちを提案してまいります。

■「もしもの時に役立つ 自治医科大学 災害医学の特命教授と学ぶ 食とお菓子の防災教室」概要

・自治医科大学栃木県災害医学寄附講座の医師監修および解説による「意外と知られていない防災情報や知識」に関する動画を作成。

・動画は当社防災 HP や当社公式 SNS など順次公開予定。

・第 1 回動画：「防災対策に役立つお菓子の意外な 3 つの役割」8 月 28 日(木)11：00 公開

身近なお菓子が防災対策にどう役に立つのか？医師の視点から 3 つの意外なお菓子の役割を紹介します。

森永製菓 防災の心得 WEB サイト：

<https://www.morinaga.co.jp/bousai/>



■自治医科大学 栃木県災害医学寄附講座 松村福広 特命教授 コメント

このたび森永製菓株式会社様と自治医科大学栃木県災害医学寄附講座とで協力関係を締結できましたこと、大変光栄に存じます。日本全国において、地震や水害をはじめとする様々な災害が頻回に発生しています。そのような災害の現場でも、“食”は重要な生活の基礎を担います。そのような中、今回の森永製菓様との連携により、美味しく食べやすく健康にも良いお菓子を通じてお役に立てることができるのではないかと考えています。普段と全く異なる厳しい環境の中で頑張っている方々にこそ、この生活の基礎となる“食”を通して少しでも楽しみや安らぎを感じていただければ嬉しい限りです。本協力関係を通じまして、被災された方々だけでなく被災地支援に参加されている方々にとりましても、心の癒しになるようなお菓子を多くの方々に提供し貢献したいと思います。



■栃木県災害医学寄附講座について

日本で自然災害を経験せずに過ごすことは皆無です。災害に備え、平時から災害医療体制の確立、災害医療に対応できる人材の育成、災害医療対応システムの構築、災害医療マネジメントの実践訓練など、事前の準備が肝要になります。そのためまだその数は多くありませんが、災害医学講座を開講する大学が増えています。自治医大は大学を卒業しますと出身地である各都道府県に戻り医師として勤務します。結果として全国で卒業生が活躍しており、各地で様々な災害医療に従事することが少なくありません。全国のDMAT隊員に自治医大卒業生が少なからず在籍していることから、地域における災害医療の必要性がわかります。本災害医学講座は全国で活躍している卒業生とのつながりを強く持ち続けることにより、今後予想される南海トラフ地震などの広域災害のみならず各地で発生する様々な局地災害に効率的かつ実践的に対応できるように準備し、栃木県だけでなく全国の防災力・対応力の向上を図りたいと考えています。